

# 産学連携への挑戦 2017

## ご挨拶

研究支援・産官学連携センター長（産官学連携担当 副理事）

織田 聡

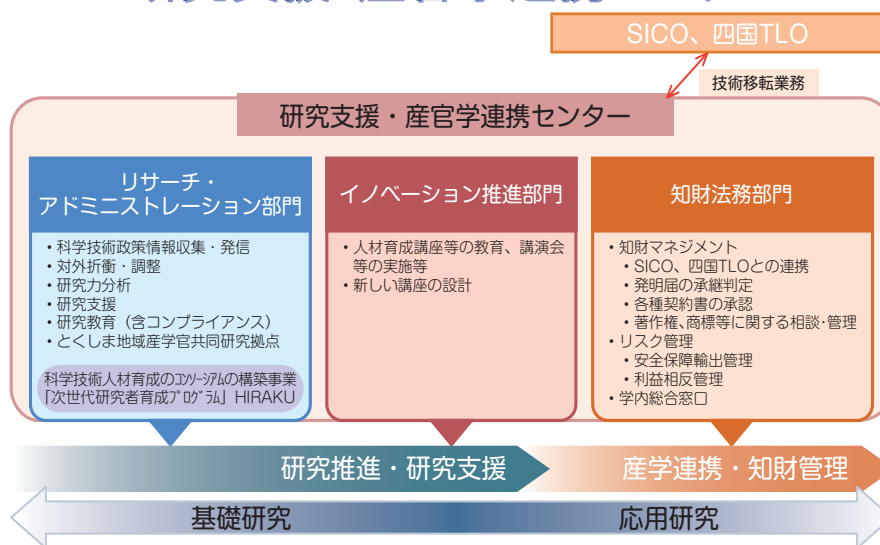


徳島大学研究支援・産官学連携センターは、徳島大学の研究力の向上とその研究成果の地域社会への還元に貢献することを大きな目的としている組織です。そして、この目標を達成することにより、結果として知的財産を生かした収入や外部資金の獲得の増加が期待できるため、大学運営上も重要な役割を担っています。

特に、大学の研究者の研究成果を特許化し、それを企業へ技術移転する活動は重要であることから、過去数年間大きな組織改革を行ってきました。従来、この分野の活動については、平成 13 年より株式会社テクノネットワーク四国（四国の大学の技術移転機関の略称、以下「四国 TLO」という。）が活動を行っていましたが、四国地域の大学の技術移転活動を強化するため、平成 25 年には「四国産学官連携イノベーション共同推進機構（Shikoku Innovative and Collaborative Organization for Industry, Academia and Government、以下「SICO」という。）」が発足しました。SICO は、四国の国立 5 大学（徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）が保有する産官学連携に関する資源を効果的・効率的に活用する観点から、大学の枠を超えて産官学連携によるイノベーション創出を推進する仕組みを構築しようとするものです。

そして、研究支援・産官学連携センターは、徳島大学における産官学連携活動の司令塔としての役割を有しており、SICO および四国 TLO と連携して、学外に目を向けた本学の知財の管理運用、共同研究や受託研究の推進、外部資金獲得支援を効率よく行うための体制を構築してきました。

## 研究支援・産官学連携センター



こうした改革の結果として、文部科学省「平成 27 年度大学等における産学連携等実施状況について」によると、徳島大学は調査回答のあった全国の国公立大学（短期大学を含む）、国公立高等専門学校、

大学共同利用機関（1,071 機関）の中で、

- ・ 同一県内企業及び地方公共団体との共同・受託研究実施件数：中国・四国地方 2 位
- ・ 民間企業との共同研究費受入額：産学官連携実務担当者数が 10 名～20 名の機関（計 97 機関）中 7 位
- ・ 特許権実施等収入（外国分を含む）：15 位

となり、産官学連携活動に関して全国の大学の中でも上位に位置する成果を挙げております。

今後は、この成果を維持するだけでなく、更なる拡大を図り、本学の研究の活性化と地域社会への還元を目指していく所存です。これを達成するために、本センターの構成員は丸となって努力する覚悟であり、限られた人材・資金ながらも智慧を出し合って徳島大学型の研究支援および産官学連携組織を構築していきたいと思っております。皆様におかれましては、益々のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご意見やご要望等がありましたら何なりとお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

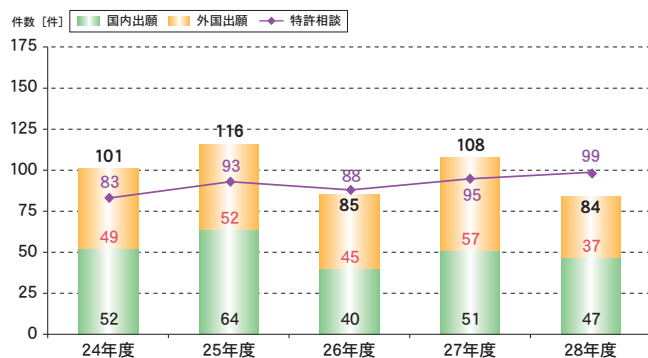


## 研究支援・産官学連携センターの運営体制

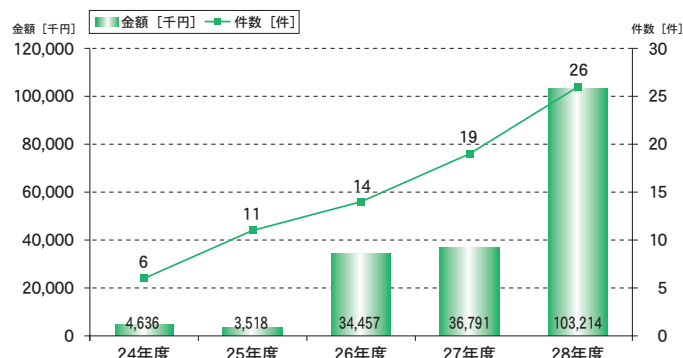
研究支援・産官学連携センターは、研究支援活動と産官学連携活動の連携を図り、徳島大学の研究分野および産学連携分野を強化していくことを目的として、平成 27 年 4 月に設置されました。これまで、研究支援についてはプロジェクトマネジメント推進室が、産官学連携活動について産学官連携推進部が行っていましたが、この 2 つの組織を統合し、徳島大学研究戦略室と一体的に取り組むことにより、相乗効果を発揮し、機動力のある組織として活動を行ってまいります。

最近の徳島大学の実績は以下のとおりです。特許権実施等収入は、ここ近年、大きく増加しており、平成 28 年度の特許権等実施料収入は、平成 27 年度の特許権等実施料収入 36,791 千円から、さらに増加し、103,214 千円となっています。

特許相談・特許出願件数 年度推移



技術移転件数 年度推移



■ 総合窓口・お問い合わせ先

電話：088(656) 7592 FAX：088(656) 7593  
E-mail：rac-info@tokushima-u.ac.jp

## 知財法務部門

知財法務部門は、徳島大学で生じた知的財産権の取り扱いに関わる窓口として、各種相談、知財管理、契約締結等の活動を行っています。また、SICO および四国 TLO と連携し、共同研究および受託研究の推進や、大学内で生まれた研究成果を企業へ移転する活動の支援を行っています。

また、国際社会における大学の責任として安全保障輸出管理規則を制定し、安全な環境下で活発に教育・研究活動ができるよう安全保障管理を行っています。その活動の一環として、教職員の方々に大学における安全保障輸出管理の必要性および徳島大学の輸出管理の取組を理解していただくため、年に数回、安全保障輸出管理説明会を開催しています。さらに、平成 25 年 9 月に発足した「四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク」では、四国の国立 5 大学が連携し、各大学の安全保障輸出管理業務における問題点を共有するとともに、事例検討やセミナー受講、大学訪問を行い、大学における安全保障輸出管理体制の構築を目的として活動しています。

加えて、部門内では、利益相反管理、教員および学生の研究成果守秘義務契約の管理等を行っています。



▲ 2017 年 12 月 16 日開催 安全保障輸出管理説明会



▲ 四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

### ■ 安全保障輸出管理に関するお問い合わせ先

電話：088(656)9773 FAX：088(656)7593  
E-mail：iag-safety@tokushima-u.ac.jp

### ■ 知財に関するお問い合わせ先

電話：088(656)7592 FAX：088(656)7593  
E-mail：rac-info@tokushima-u.ac.jp

## イノベーション推進部門

ものづくり分野における技術者・管理者等の人材育成について、大学教員・企業技術者やその OB、徳島県の行政担当者、広域連携による他大学の専門講師の協力を得て、社会や顧客ニーズに素早く対応でき、かつコスト削減や課題解決能力を養い企業のエースとなるべき人材の育成を目指し、講座を公開しています。本年度で 13 年目となり、県内の多くの企業に社員教育の一環として利用されています。

徳島大学が平成 26 年に宣言した「地域と共に未来へ歩む徳島大学宣言」に基づき、平成 27 年度より講座名も「産業人材育成講座」から「地域産業人材育成講座」に改称しました。本年度の講座の特徴は、従来のものづくり基幹産業関連の生産管理講座、食品加工関連の講座およびロボット講座をブラッシュアップするとともに、3DCAD 講座の 3D プリンタをより詳細に学べるよう、再編しました。また、最近注目されている IoT については、概要等をより深く学べるよう全国から講師を招き、IoT 活用講座を新設しました。また昨年度まで開講していたマーケティング講座は、マーケティングだけではなく原価や原価計算、組織力について学べる経営企画講座に再編しました。



そのほか、本講座で行うインターンシップは、県外企業も訪問するなど、これまでの受講者の意見を参考により実りある講座になるよう計画しています。

|        |                   |            |      |
|--------|-------------------|------------|------|
| プログラムⅠ | 生産管理講座            | 7/6～7/26   | 全5コマ |
| プログラムⅡ | 3D-CAD・プリンタ・解析講座  | 8/2～9/26   | 全8コマ |
| プログラムⅢ | ロボット講座            | 10/3～11/21 | 全8コマ |
| プログラムⅣ | 食品加工講座            | 9/7～10/26  | 全8コマ |
| プログラムⅤ | IoT活用講座           | 11/28～1/25 | 全8コマ |
| プログラムⅥ | 経営管理講座            | 12/7～1/23  | 全6コマ |
| プログラムⅦ | インターンシップ（講演付き見学会） | 2/8～2/22   | 全3コマ |

#### ■ 講座に関するお問い合わせ先

電話：088(656)9884 FAX：088(656)9313

E-mail：iag-jinzai@tokushima-u.ac.jp



▲ 2016年7月20日開催  
地域産業人材育成講座 3DCAD 講座



▲ 2017年3月8日開催  
地域産業人材育成講座 修了式

## リサーチ・アドミニストレーション部門

リサーチ・アドミニストレーション部門は、基礎研究から応用研究まで一貫通貫した支援を行います。特に、地域社会のニーズを踏まえた異分野融合を強力に推進し、学術研究の持続的発展を可能にする研究支援体制の構築を目的とします。本部門では、本学の研究力をさらに向上させるために、外部資金の獲得支援、研究環境の改善、本学の特性に適した実効性が上がる組織体制づくりを支援します。



▲ 2016年6月9日開催  
創薬オープンイノベーション合同説明会・相談会



▲ 2017年3月9日開催  
第8回研究推進セミナー（研究倫理セミナー）

## 主な業務内容

1. 研究支援：科研費計画調書作成支援、研究推進セミナー企画・開催、共同研究推進支援
2. 共用機器（とくしま地域産官学共同研究拠点）管理・運営
3. 研究支援組織体制の強化：URA 個人や組織として高度なスキル向上、RA 協議会組織会員としての協議会活動
4. 研究教育（含コンプライアンス）

### ■ リサーチ・アドミニストレーション部門お問い合わせ先

電話：088(656)9827 FAX：088(656)8015

E-mail：ura-office@tokushima-u.ac.jp

## 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」(HIRAKU 事業) の事業紹介

平成 26 年 10 月に広島大学、山口大学および本学が共同で実施する「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」(HIRAKU 事業) が文部科学省の補助金事業として採択されました。当事業では、理工系、人社系を問わず、若手研究人材が地域や国際社会を変革する人材として自立できるように、主に次のプログラムを実施しています。

### 1 若手研究者の自立・流動促進プログラム

自立的に研究を実施し、多様な研究キャリアを切り拓くことのできる教員を、平成 33 年度までに毎年 1 名、「テニュアトラック特任助教」として採用していきます。

平成 27 年度：生物資源産業学研究部 谷原 史倫

平成 28 年度：医歯薬学研究部（薬学） Karanjit Sangita

平成 29 年度：医歯薬学研究部（医学） 黒田 雅士

平成 30 年度：選考中

### 2 イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム

企業や社会の課題解決に貢献しつつ、実践的な能力の養成とアカデミア以外のキャリアオプションの拡大を図ることを目的として、長期インターンシップ派遣制度（2 ヶ月以上の派遣）を設けています。

平成 27 年度：三菱レイヨン株式会社 1 名、株式会社インフォマティクス 1 名

平成 28 年度：ニタコンサルタント株式会社 1 名、国立研究開発法人理化学研究所 1 名

また、広島大学、山口大学と共同で人材育成を目的としたセミナー、イベント等を開催しています。

#### ○3 分間コンペティション

大学院博士課程後期の学生を対象に 3 分間の限られた時間内に自身の研究ビジョンや魅力を一般の方にもわかるように伝えることで、学生のコミュニケーション能力の向上を目的に開催しています。

#### ○若手研究者シーズ発表会・課題提案型ワークショップ

若手研究者（博士課程学生、ポストドクターを含む）が企業や研究所に向けて自身の研究（シーズ）を発表し、意見交換を行うことで若手研究者が社会のニーズを感じて社会とつながることを目的に開催しています。

#### ○人材セミナー

主に企業の研究開発部署で活躍している方々や人事担当者から、最新の研究開発動向や人材活用の状況を学ぶことを目的に開催しています。平成 28 年度は各大学で計 18 回開催しました。

## 本センターの活動と関連の深い「四国産学官連携イノベーション共同推進機構（SICO）」の紹介

四国産学官連携イノベーション共同推進機構（略称「SICO（シコ）」）は、四国の国立5大学が連携し、5大学の研究成果をより多く社会へ還元し、四国地域全体の活性化を図ることを目的として、産学官連携活動を行っています。

本事業の活動の1つとして、ICTを利用した産学連携支援マッチング情報システム「MATCI（マッチ）」を運用しています。現在、5大学の研究技術情報（研究・特許・文献・機器・シーズ・実用化例）を収録しており、企業の方が求める研究技術情報の検索を容易にすることで、技術マッチングを図り、共同研究や新規事業の展開・製品開発等に結びつけることができるシステム登録料・利用料無料のデータベースとなっています。平成29年3月末現在、13,800件以上の研究技術情報を収録しており、共同研究は8件成立しています。ぜひご利用ください。



### MATCI（マッチ） 企業ニーズと大学シーズをつなぐマッチングシステム



### 四国の研究技術を活用してみませんか？

- ▶ 四国の5国立大学の研究技術情報を簡単に検索
- ▶ J-GLOBAL・researchmap・KAKENの情報をまとめてチェック
- ▶ 各大学アソシエイトを介するため、連絡先を調べることなく、大学研究者とのマッチングが可能
- ▶ 自社の製品・事業や興味のある技術・研究を公開しアピール

研究技術情報  
13,800件  
以上！

共同研究契約  
8件成立！

<MATCI> <https://sico-system.ccr.tokushima-u.ac.jp/search/>



四国産学官連携イノベーション共同推進機構（SICO）お問い合わせ先

TEL：088（656）9702 FAX：088（656）7274

E-mail：sico-office@tokushima-u.ac.jp HP：http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/sico/

FB：https://www.facebook.com/ShikokuInnovation/

編集・発行  
お問い合わせ  
連絡先

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

徳島大学 研究支援・産官学連携センター センター長 織田 聡

電話：088(656)7592(総合窓口) FAX：088(656)7593

E-mail：rac-info@tokushima-u.ac.jp URL：http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/